約２年前にネット通販で購入したスマホ用のモバイルバッテリーがすごく膨らんできていて怖い。

（60 歳代　女性）

リチウムイオン電池はモバイルバッテリーやスマートフォンのほか、ワイヤレスイヤホン、スマートウォッチ、携帯用扇風機など日常生活で身につけたり、持ち歩いたりする様々な製品に搭載されています。しかし、便利な一方で電池の発煙・発火事故も発生しています。

購入する際は、製造・販売元や型式が明示されていないものや、仕様が不明確な製品は避けましょう。電気用品安全法に基づき、電気製品が安全基準を満たしていることを示す「ＰＳＥマーク」の表示の確認や、購入後の製品情報やリコール情報の確認も大切です。

充電の際は適切な充電器を使用し、もし端子が過熱したり異臭がしたりした際は直ちに使用を中止しましょう。異常の発生に早く気付くことができるよう、充電は安全な場所で、睡眠中ではなくなるべく起きている時に行うようにしましょう。

また、地面に落としてしまうなどで電池に強い衝撃や圧力が加わると、発煙・発火を伴う事故につながる可能性もあります。持ち運びをする際や、高温になる場所では使用・保管しないなど、取り扱いに注意し、電池に膨張がみられたら直ちに使用を中止しましょう。

近年、ごみ処理施設や収集車においてリチウムイオン電池が押しつぶされたことなどに起因する火災事故などが発生しています。ワイヤレスイヤホンなどの小型の製品であっても大きな火災に発展するおそれもあるため、廃棄する際は安易に他のごみに混ぜて捨てず、必ず自治体の分別ルールに従ってください。取り外し可能なバッテリーは販売店でリサイクル回収をしている場合もありますので、可能なものはリサイクルしましょう。

不安なことがある場合は、お住いの自治体の消費生活相談窓口「局番なし 188」にご相談ください。